

## 国之常立神の靈言（2011年2月14日靈示）

担当:石田昭 2015年9月17日

- 1 古事記では天御中主神が最初の神、日本書紀では国之常立神が最初の神様。自分は仏教を入れるのには反対した立場だった。日本古来の神を大切にすべきという意見だった。
- 2 天照大神の年代は3000年前、私の年代は3300年前、モーゼよりも前のことになる。「仏教、儒教、ユダヤ教よりも前」となるが、釈迦の時代より前か…どうかは言えない。
- 3 一万年前に日本には高い文明の末流（ムー帝国からの）が入ってきていた。実際の歴史では我々は中興の祖である。東北にも高い文明があった。日本を高く評価、国粹主義的思想？
- 4 「3000年後に日本に救世主が降臨する」ことを、自分は知らなかった。当時は「日本全体の統一」という考えが出てきた頃であった。太陽界の住人は知っていた。聖徳太子の靈言
- 5 明治維新では、天御中主神系統は「開国派」、国之常立神系統は「攘夷派」だった。現在当会は「開国派」のほうと親和性が高い。しかし、「開国派」が行過ぎた場合、「八紘一宇」「大東亜共栄圏」という思想を広げることになる。先の大戦の原因になった面もある。
- 6 私は「攘夷して（外国と）かかわらず、島国として独立を保つ」という考えだった。神々の意見が二つに分かれていた。鎖国の時代は我々の力が強かったが、開国後は天御中主神系統が強くなり、敗戦で行き詰った。両者とも「出直し」となった。経済的発展が天御中主神の立場、私は神道系新宗教つくりをやった。私たちの方が民族的な考え方強いのかもしれない。中国との文化交流もあったが、日本独自の鉛物で作ったものもある。青竜刀と日本刀はまったく違う。日本には一部、中国文化より優れた文化がすでにあった。
- 7 大和朝廷のルーツは二つあった。東征してきた九州の勢力（神武勢）と近畿地方の勢力、近畿勢の長髓彦は私たちの子孫である。九州勢が勝利したが、宇宙人からの技術供与があったと思われる。近畿勢が持っていた武器を持っていた。それで負けた。
- 8 宇宙に根拠があるものは「天」が付いていて、「国」が付いているのは“地球産”である。
- 9 九州勢の宗教は「光一元の思想」や「発展」「調和」型、近畿勢は「邪靈、惡靈払い」型
- 10 伊邪那美はレプタリアンではないのか。動物を犠牲にして食べるという波長が、大和の心に合わなかった。日本食の源流は月読命（九州型食習慣）、豊受大神（若狭型食習慣）
- 11 近畿地方は修驗道が盛ん。自分は光一元の光明思想系ではなかった。異質性、異端性の強いものを排除する気のある思想だった。仏教導入にも反対、開国にも反対、物部氏系統か？
- 12 天理教、黒住教は、天御中主神、天照大神系統、自分は大本教に近い。出口王仁三郎とは縁がある。「宗教的指導者に分け御魂が入った」ことはあるかも知れないが、言えない。
- 13 天御中主神、天照大神系が、仏教と混交して密教を流行らせていたときに、「陰陽道系」と「修驗道系」を少し流行らせたことはある。賀茂家は仏教系、宇宙系とも縁がある。
- 14 自分は日本の中に主流山脈を作ろうとしたが、密教に負けた。一時的には広がったが、その後仏教が強くなって、日本は仏教国に変わっていった。仏教とも神道とも縁のある天御中主神系に敗れたと見ていい。主流をつくりたかったが負けた。出身の星の違いもある。
- 15 宇宙時代を迎えるが、日本は閉鎖性が強いので、宇宙に関しても「開国か攘夷か」という問題が出てくるだろう。明治維新をどう見るか、日蓮の新靈言で「全否定の動き」原田伊織警戒
- 16 中国は「自分らは先生だ」と思っている。中国が日本を支配しようとするなら「日本は宇宙の方にルーツがある。先生は宇宙だ」と言うのもいいかも。唯物論との戦いが最重要
- 17 収録後：物部系（日本固有の神々を祀れ）の気があった。当会はもう一段大きな地球靈団系のほうと関係が強いのだと思う。日本神道の國際化（昭和の失敗）のリバイバルではまずい。